

平成26年1月7日(火)

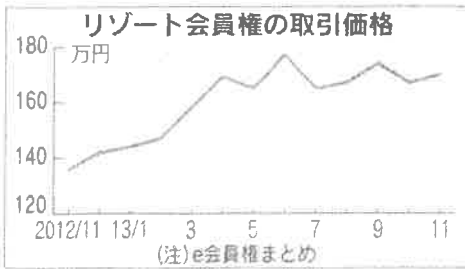
リゾート会員権の価格が上向いている。仲介大手のe会員権(横浜市)によると、昨年11月のリゾート会員権の取引価格(売り希望価格)は平均170万円。前月比3万円(2%)上昇した。例年なら不需要期だが仲介業者には購入希望の問い合わせが相次いでいる。

「昨年は暮れになっても問い合わせの電話が鳴りやまなかった」。e会員権の涌井智子社長は振り返る。例年なら年末には問い合わせが減る。暖かい時期の利権を考える人が多いためだが「昨年12月は、翌年の利権を考えたいという顧客が目立った」という。昨年11月末の平均価格は170万円と同年6月のピーク(177万円)より4

プライス

リゾート会員権

サービス価格情報



高額物件人気で上昇

「下がったが前年同月比25%高い水準だ。値上がりの背景は300万円以上の高額物件の価格が上昇したこと。エクシブ初島クラブSタイプ(26泊)の価格が700万円。泊1の価格が700万円。前月比110万円高い。上がった。さらに高い価格水...」

「エクシブ京都八瀬離宮Sタイプ(13泊)」も470万円と前月より20万円上昇し、価格を押し上げた。「昨年11月の成約件数の落ち込みは小さかった」(e会員権)との指摘もある。リゾート企業が新規募集の稼働率も上がっている」と話す。(井上達也)



リゾート会員権の価格は上昇傾向(静岡県熱海市のリゾートホテル)

標準の会員権が取引の対象になっていない。これまで経営者や医師など富裕層が高額物件を購入したが、最近はサラリーマンや企業を退職した高齢者を中心に低額の物件を探すが目立つ。取引の内訳をみると、100万円未満が全体の70%を占める。もっとも成約件数は昨年11月、前月比で14%減少している。例年11月は不需要期に入るために件数は減少するが、昨秋急ハーフエストラップ熱海伊豆山」を現在販売している。日本リゾートクラブ協会は今泉陽一常務理事は「景気回復期待を背景に、リゾート会員権のニーズは強まっている。宿泊客も増えており、会員制リゾート施設の稼働率も上がっている」と話す。